

目次

法務およびサポート.....	7
法的および準拠に関する声明.....	7
供給元の適合宣言.....	7
ユーザーへの通告 (FCC).....	8
知的財産および規制に関するご注意.....	8
重要な安全情報.....	9
最初にお読みください.....	10
ソフトウェア バージョン.....	10
限定保証.....	11
MOTOROLA SOLUTIONS 通信製品.....	11
I. この保証の対象と期間.....	11
II. 全般的な規定.....	11
III. 州法の権利.....	11
IV. 保証サービスを受ける方法.....	12
V. 本保証の対象とならないもの.....	12
VI. 特許およびソフトウェアに関する条件.....	12
VII. 準拠法.....	13
章 1 : 無線機のお手入れ.....	14
章 2 : 無線機の概要.....	15
2.1 プログラム可能ボタンの設定.....	17
章 3 : はじめに.....	18
3.1 SD カードの挿入.....	18
3.2 SIM カードの挿入.....	19
3.3 バッテリーの取り付けまたは取り外し.....	21
電池パックの取り付け.....	21
バッテリーの取り外し.....	21
3.4 無線機の充電.....	21
3.5 無線機の電源のオン/オフ.....	22
無線機の電源のオン.....	22
無線機の電源のオフ.....	22
3.6 音量の調節.....	22
3.7 カメラ レンズ保護カバーの取り外し.....	22
3.8 タッチスクリーンのナビゲーション.....	22

3.9 ホルスタへのベルト クリップの取り付け.....	24
3.10 ホルスタへの無線機の挿入.....	24
章 4 : ホーム画面の概要.....	25
4.1 ステータス インジケータ.....	26
4.1.1 ステータス アイコン.....	26
4.1.2 LED 表示.....	27
章 5 : 基本機能.....	28
5.1 コンピュータからのファイルへのアクセス.....	28
5.2 無線機の設定へのアクセス.....	28
5.2.1 ホーム画面でのショートカットとしての無線機設定の作成.....	28
章 6 : 接続.....	29
6.1 Bluetooth.....	29
6.1.1 Bluetooth モードのオン/オフの切り替え.....	29
Bluetooth モードをオンにする.....	29
Bluetooth モードをオフにする.....	29
6.1.2 デバイスの詳細の表示.....	30
6.1.3 デバイス名の編集.....	30
6.1.4 デバイス名の削除.....	30
6.2 Wi-Fi 操作.....	30
6.2.1 Wi-Fi のオン/オフの切り替え.....	30
Wi-Fi のオン.....	30
Wi-Fi のオフ.....	31
6.2.2 Wi-Fi ホットスポットの設定.....	31
6.3 位置情報.....	32
6.3.1 位置のオン オフの切り替え.....	32
位置情報のオン.....	32
位置情報のオフ.....	32
6.4 機内モード.....	32
6.4.1 機内モードの開始.....	32
章 7 : WAVE™ アプリケーション.....	34
7.1 WAVE アプリケーションへのログイン.....	35
7.2 WAVE アプリケーションからのログアウト.....	35
7.3 WAVE アプリケーションの概要.....	36
7.4 プッシュトーク ボタン.....	37
章 8 : グループ.....	39
8.1 グループの表示.....	39
8.2 チャンネルとゾーン.....	39

8.2.1 チャンネルとゾーンの表示.....	40
8.3 エリアベースのグループ.....	40
8.4 グループの詳細の表示.....	40
章 9 : 連絡先.....	41
9.1 新規連絡先の追加.....	41
章 10 : 通話のタイプ.....	43
10.1 発信する.....	43
10.2 通話着信.....	44
章 11 : 緊急モード.....	45
11.1 緊急モードの発動.....	45
11.2 緊急アラートの受信.....	45
11.3 緊急事態のキャンセル.....	45
章 12 : 音声制御.....	46
12.1 音声制御の利用.....	48
章 13 : ユーザー チェック.....	49
13.1 ユーザー チェックの有効化.....	49
章 14 : グループ スキャン.....	50
14.1 グループ スキャンのオンとオフの切り替え.....	50
グループ スキャンのオン.....	50
グループ スキャンのオフ.....	50
章 15 : スーパーバイザによるオーバーライド.....	51
章 16 : インスタント パーソナル アラート (IPA).....	52
16.1 インスタント パーソナル アラートの送信.....	52
16.2 インスタント パーソナル アラート (IPA) の受信と応答.....	52
章 17 : 不在着信アラート.....	53
17.1 不在着信アラートの受信と応答.....	53
章 18 : マップ.....	54
18.1 自分の場所の共有.....	54
18.2 位置情報機能を有効にした位置情報の共有.....	55
18.3 メンバーの位置情報の表示.....	55
18.4 境界.....	55
18.4.1 境界の作成.....	56
18.4.2 クイック グループによる境界の作成.....	56
18.4.3 境界設定の変更.....	57
章 19 : メッセージング.....	58
19.1 テキスト メッセージの送信.....	58

19.2 クイック テキストの追加.....	58
19.3 クイック テキストの削除.....	59
19.4 マルチメディア コンテンツの送信.....	59
19.5 メッセージの受信.....	60
19.6 メッセージの保存.....	60
19.7 メッセージの転送.....	61
19.8 メッセージへの返信.....	61
19.9 メッセージの削除.....	62
章 20 : ユーザーの無効化または一時停止.....	63
章 21 : アプリケーション.....	64
21.1 カメラ.....	65
21.1.1 写真の撮影.....	65
21.1.2 ビデオの録画.....	65
21.2 ギャラリー.....	66
21.2.1 ギャラリーの表示.....	66
21.2.2 写真からの項目の共有.....	66
21.2.3 ギャラリーからの項目の削除.....	67
21.2.4 写真のトリミング.....	67
21.2.5 写真の回転.....	67
21.2.6 ビデオの再生.....	68
21.3 バーコードまたは QR コードのスキャン.....	68
21.4 フラッシュ ライトをオンにする.....	68
21.5 スクリーン キャプチャの取得.....	68
21.6 ダーク テーマ.....	68
21.6.1 ダーク テーマの設定.....	69
21.7 Smart Reply.....	69
21.7.1 Smart Reply の設定.....	69
21.8 ファイルの探索.....	69
章 22 : 設定.....	71
22.1 WAVE アプリケーション設定へのアクセス.....	71
22.2 デバイス設定.....	74
22.2.1 画面ロック.....	74
22.2.1.1 画面のロック解除.....	75
22.2.2 日付と時刻の設定.....	75
22.3 表示設定へのアクセス.....	76
22.4 サウンド設定へのアクセス.....	77
22.4.1 無線機のミュート.....	78

22.4.2 自動ルールの設定.....	78
章 23 : 認定アクセサリ リスト.....	80

法務およびサポート

法的および準拠に関する声明

供給元の適合宣言

供給元の適合宣言

Per FCC CFR 47 Part 2 Section 2.1077(a)



責任者

名前: Motorola Solutions, Inc.

住所: 2000 Progress Pkwy, Schaumburg, IL.60196

電話番号: 1-800-927-2744

ここに以下の製品:

モデル名: **EVOLVE、EVOLVE-i**

が以下の規制に適合していることを宣言します。

FCC Part 15、subpart B、section 15.107(a)、15.107(d) および section 15.109(a)

Class B デジタル デバイス

パーソナル コンピュータの周辺機器として、このデバイスは FCC の Part 15 に適合します。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1 この機器は有害な干渉を発生しません。

- 2 この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。



注：

この機器は、テストの結果、FCC 規則 Part 15 に基づく Class B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないようにするために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の 1 つ以上の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に相談してください。

ユーザーへの通告 (FCC)

次の条件により、この機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。

- この機器は有害な干渉を発生しません。
- この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。
- Motorola Solutions による明示的な承認なくして本機器に変更または改変を加えた場合、本機器を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

知的財産および規制に関するご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータプログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。従って、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。Google、Android、Google Play、YouTube、およびその他の商標は、Google LLC の商標です。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソース の法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令では、EU 諸国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。

WEEE 指令で規定されるとおり、このゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

免責条項

一部のシステムに対して、このマニュアルで説明する機能、設備、性能が適用されない、またはライセンスされない場合があります。また、モバイル サブスクリバ ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があります。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2021 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

重要な安全情報

携帯型業務用無線機の電磁波エネルギー被曝および製品の安全性に関するガイド



注意：

この無線機は業務用の利用に限定されています。本無線機をご使用になる前に、『ミッション クリティカルな機器に関する電磁波エネルギー被曝および製品安全性ガイド』をよくお読みください。安全にお使いいただくための取り扱い方法と、電磁波エネルギーについての重要な説明が記載されています。また、電磁波エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報も記載されています。

このデバイスは、5150 ～ 5350MHz の周波数範囲で動作している場合のみ屋内使用に制限されています。ただし、5.2GHz 高出力データ通信システムのベース ステーションまたはリレー ステーションでの送信は除きます。

	AT	BE	BG	HR	CY	CZ	DK
	EE	FI	FR	DE	EL	HU	IE
	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL
	PT	RO	SK	SI	ES	SE	UK

最初にお読みください

このユーザー ガイドでは、お住まいの地域で提供される無線機モデルの基本操作について説明します。

このマニュアルで使用されている表記

本書のテキスト全体を通じて、警告、注意、および注が使用されています。これらの表記は、安全上の危険が存在すること、および注意を払うまたは注意する必要があることを強調するために使用されています。



警告：注意して守らないと負傷や死亡につながる可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注意：注意して守らないと装置が損傷する可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注：特に重要な操作手順、慣行、状態など。

特記事項

このガイドでは、次の特記事項を使用して特定の情報や項目を強調します。

表 1：特記事項

例	説明
Menu キーまたは PTT ボタン	太字は、キー、ボタン、またはソフト メニュー項目の名前を示します。
無線機に Bluetooth On と表示されます。	タイプライター文字で表された語句は、MMI 文字列または無線機に表示されるメッセージを示します。
<required ID>	クーリエ、太字、斜体、および山形括弧は、ユーザーの入力を示します。
[Setup]→[Tone]→[All Tones]	太字の語とその間の矢印は、メニュー項目のナビゲーション構造を示します。

機能およびサービスの可用性

ディーラーや管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。



注：お使いの無線機では、マニュアルのすべての機能が使用できるわけではありません。詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- 各ボタンの機能は何か
- 自分のニーズに対応するオプションのアクセサリはどれか
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか
- 無線機を長く使用するための保守手段は何か

ソフトウェア バージョン

以下のセクションで説明されているすべての機能が、ソフトウェア バージョン **R01.02.02** 以降でサポートされます。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

限定保証

MOTOROLA SOLUTIONS 通信製品

I. この保証の対象と期間:

Motorola Solutions, Inc. (「Motorola Solutions」) は、以下に挙げる Motorola Solutions 製造の通信製品 (「製品」) を、以下に規定されたとおり、購入日から一定期間、通常の使用およびサービスで発生する製造上の不具合に対して保証します。

携帯型無線機	1 年間
製品アクセサリ	1 年間

この保証に従って保証期間内の返品が発生した場合、Motorola Solutions はその自由裁量により、無償で製品の修理 (新品または再生部品を使用)、製品の交換 (新品または再生製品)、または製品の購入価格での返金を行います。交換した部品またはボードは、元の該当保証期間から差し引いて保証されます。製品の交換済み部品はすべて Motorola Solutions の所有となります。

この明示的な限定保証は、購入したエンド ユーザー本人に対して Motorola Solutions が適用するものであり、第三者への譲渡または移転はできません。Motorola Solutions が製造した製品に対する保証は、これがすべてです。Motorola Solutions は、その権限を持つ Motorola Solutions の責任者が書面に記載して署名した場合を除き、この保証に対する追記や変更について、一切の義務または責任を負いません。

Motorola Solutions と購入したエンド ユーザー本人との間で別途契約が発生した場合を除き、Motorola Solutions は製品の設置、保守、またはサービスを保証しません。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供したもの以外の、製品に付属し使用される周辺機器または製品の周辺機器の操作については、いかなる責任も負いません。このような機器はすべてのこの保証の適用範囲外となります。本製品が使用されるシステムにはそれぞれ独自性があるため、Motorola Solutions は、本保証の下で稼働しているシステム全体としての領域、範囲、または運用に対する責任を負わないものとします。

II. 全般的な規定

この保証は、製品に関する Motorola Solutions のすべての責任を規定します。Motorola Solutions の選択で行われる修理、交換、購入代金の払い戻しは、排他的な救済策です。この保証は、その他すべての明示的な保証の代替となるものです。商品性および特定の目的への適合性の保証、およびそれらに限定されない暗黙的な保証は、この限定保証の期間内に限定されます。いかなる場合も、MOTOROLA SOLUTIONS は、製品を使用できないことによる損失、時間的損失、不都合、経済的損失、利益または資本の損失、または製品の使用または製品を使用できないことに起因する、その他の付随的損害、特別損害、もしくは結果的損害について、法律で許される最大限の範囲において、製品の購入価格を超える損害について責任を負いません。

III. 州法の権利:

州によっては、偶発的または付随的損失の除外または制限、または暗黙的保証の期間の制限を認めていない場合があるため、上記の制限または除外は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利と、州によって異なるその他の権利を付与するものです。

IV.保証サービスを受ける方法

保証サービスを受けるには、購入の証明 (購入の日付と購入品目のシリアル番号のあるもの) を提示し、送料または保険料の前払いを行ったうえで、認可された保証サービス窓口に製品を送付する必要があります。保証サービスは、認可された保証サービス窓口の 1 つを通じて Motorola Solutions によって提供されます。購入者が製品を購入した会社 (ディーラー、または通信サービス プロバイダなど) に最初に連絡すると、保証サービスを滞りなく受けられます。また、Motorola Solutions (1-800-927-2744) に電話にてご依頼いただくこともできます。

V. 本保証の対象とならないもの

- 1 正常かつ通常以外の方法で本製品を使用した結果生じた欠陥または損害。
- 2 誤用、事故、水、または不注意の結果生じた欠陥または損害。
- 3 不適切なテスト、操作、保守、設置、変更、改変、または調節の結果生じた欠陥または損害。
- 4 材質または製造上の欠陥に直接起因しないアンテナの破損または損傷。
- 5 本製品の性能に悪影響を及ぼす、または保証請求内容を検証するために Motorola Solutions が実施する本製品の標準保証検査およびテストの妨げとなるような、無許可の改変、分解、または修理 (Motorola Solutions 以外が提供した機器を本製品に追加することを含むがこれに限定されない) が行われた製品。
- 6 シリアル番号が消されているか判読できない製品。
- 7 次の条件に該当する充電式バッテリー。
 - セルのバッテリー カバー上のシールが破損しているか、不正な変更の証拠が見られる場合。
 - 破損または欠陥が、指定された製品以外の機器またはサービスでバッテリーを充電または使用したことにより生じた場合。
- 8 修理窓口までの運送費。
- 9 製品のソフトウェア/ファームウェアの不法または承認されていない改造により、Motorola Solutions が最初に製品を出荷した時点では準拠していた Motorola Solutions の公開仕様または FCC 認定ラベルのとおり機能しなくなった場合。
- 10 本製品の動作に影響を与えない、製品表面に付いた傷または他の表面的な損傷。
- 11 正常かつ通常の傷や磨耗。

VI.特許およびソフトウェアに関する条件

Motorola Solutions は、本製品または部品が米国特許権を侵害しているという請求に基づく範囲において、エンド ユーザーである購入者に対するいかなる訴訟でも、自ら費用を負担して抗弁します。また、Motorola Solutions は、そのような請求に基づく訴訟でエンド ユーザーである購入者に最終的に裁定された費用および損害賠償金を支払いますが、このような抗弁および支払いには、次のような条件が課されます。

- 1 該当する購入者が、該当する請求通知を書面で速やかに Motorola Solutions に通知すること。
- 2 Motorola Solutions が、そのような訴訟の弁護、および解決または和解のためのすべての交渉を独占的に管理すること。
- 3 本製品または部品が、米国特許権侵害の請求の対象となる場合、または Motorola Solutions がその可能性があると判断した場合、該当する購入者は、Motorola Solutions が、自由裁量により自ら費用を負担して、本製品または部品を使用し続ける権利を購入者のために獲得すること、本製品または部品を交換または修正して特許権侵害を解消すること、または本製品または部品の減価償却を購入者に対して認め、その返却を受け入れることを Motorola Solutions に許可すること。減価は、Motorola Solutions が規定する製品または部品の寿命年数に応じた金額となります。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供するものでないソフトウェア、装置、または機器とともに提供される製品または部品の組み合わせに基づく特許侵害の申立について、責任を負いません。また、Motorola Solutions は、製品に関連して添付または使用される、Motorola Solutions が提供するものでない周辺機器またはソフトウェアの使用について、一切の責任を負いません。上記の記載は、関連する製品または部品による特許の侵害に関する Motorola Solutions の全体的な責任について規定するものです。

米国およびその他の国の法律では、Motorola Solutions に対し、著作権で保護された Motorola Solutions 製ソフトウェアに関する一定の独占権を認めています。これには、該当する Motorola Solutions 製ソフトウェアを複製および配布する独占権などがあります。Motorola Solutions ソフトウェアは、ソフトウェアが本来同梱されている製品のみで使用できるものです。当該製品のソフトウェアは、あらゆる手段による交換、複製、配布、改変、またはその派生物を作成するための使用を禁じられています。Motorola Solutions ソフトウェアの改変、変更、複製、配布またはリバース エンジニアリングを含み、それらに限定されないその他の使用、または Motorola Solutions ソフトウェアの権利の行使は、禁止されています。Motorola Solutions の特許権または著作権のもとで、黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、ライセンスが付与されることはありません。

VII. 準拠法

本保証は米国イリノイ州の法律に準拠します。

章 1

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 2: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP68	無線機は、水深 2 メートルで 2 時間耐え、水滴、雪、汚れ、グリース、その他の表面の汚れなどの悪条件に耐えます。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカ グリルやマイク ポート内に入り込んでいる可能性のある水を除去してください。水が入り込むと、音声が悪化することがあります。
- 無線機のバッテリーの接触面が水に濡れた場合は、バッテリーを無線機に接続する前に、無線機およびバッテリーのバッテリー接触面をクリーニングして乾かしてください。水が残ると、無線機がショートすることがあります。
- 無線機が腐食性物質 (たとえば、塩水) に浸かった場合は、無線機およびバッテリーをきれいな水ですすいでから無線機およびバッテリーを乾かしてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水 (たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤) を使用してください。
- バッテリー接触面の下の無線機シャーシにあるベント (穴) を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機へのリーク パスが生じ、無線機の防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- 無線機は最深 2 メートル、最長 120 分の防水性能を備えています。最大限度を超えると、無線機が損傷するおそれがあります。

章 2

無線機の概要

図 1：正面図と背面図



表 3：無線機の概要

番号	名前	説明
1	固定アンテナ	送受信時に必要とされる RF 増幅を提供します。
2	前面カメラ	写真を撮影できます。
3	デジタル マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。
4	タッチ スクリーン	無線機のディスプレイ画面。
5	アクセサリ コネクタ	アクセサリを無線機に接続します。
6	USB 充電ポート	充電用。
7	戻るボタン	前の画面に戻るか、アプリケーション ウィンドウを終了できます。
8	ホーム ボタン	ホーム画面に戻ることができます。
9	概要ボタン	無線機で現在アクティブなアプリケーションのリストを表示できます。
10	デジタル マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。

番号	名前	説明
11	スピーカ	無線機によって生成されるすべてのトーンおよび音声を出力します (キーパッドのトーンや音声オーディオなどの機能)。
12	背面のカメラ	写真、ビデオを撮影したり、QR コードをスキャンしたりすることができます。
13	LED フラッシュ	フラッシュ ライト機能を提供します。
14	バッテリー ラッチ	無線機からバッテリーをロックまたはロック解除できます。
15	プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	音声操作を実行できます。
16	バッテリー	無線機に電源を供給します。
17	3 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
18	1 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
19	ウェイク ボタン/2 ドット プログラム可能機能ボタン	無線機の画面をウェイクアップできます/割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン (長押し)
20	充電端子	バッテリーの充電ポイント。

図 2: 上面図

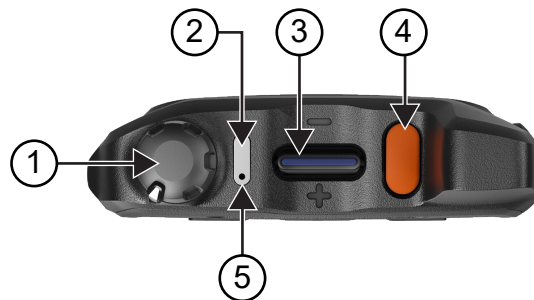


表 4: 無線機の概要

番号	名前	説明
1	オン/オフ/音量ノブ	無線機をオンまたはオフにして、音量を調整します。
2	LED インジケータ	青、赤、および緑の発光ダイオードが動作ステータスを示します。
3	チャンネル ロッカー	チャンネルを選択します。
4	緊急ボタン	緊急操作をオンまたはオフにします。
5	デジタル マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。

2.1

プログラム可能ボタンの設定

プログラム可能ボタンは、押すか押し続けることでさまざまなアクションを実行するように設定できます。



注：プログラム可能ボタンは、次のようにデフォルトのアクションに割り当てられています。

- 押して通信に応答するか、通信を終了します。
- 長押しするとホーム画面に戻ります。

手順:

- 1 上にスワイプし、 **[Settings]**→**[Programmable buttons]** の順にタップします。
- 2 次のオプションのいずれかを選択します。
 - プログラム可能ボタン -1- 短押し
 - プログラム可能ボタン -1- 長押し
 - プログラム可能ボタン -2- 長押し
 - プログラム可能ボタン -3- 短押し
 - **[プログラム可能ボタン -3- 長押し]**
- 3 表示されたリストから、希望するアクションをタップします。
 - デフォルト
 - 明るさを上げる
 - 明るさを下げる
 - カメラ
 - 着信通信 (通信の承諾/終了)(プログラム可能ボタン - 1 - 短押し専用)
 - 着信通信 (着信音消音)(プログラム可能ボタン - 1 - 長押し専用)
 - メディア
 - バーコード
 - **Voice Control** (米国のみ) (プログラム可能ボタン - 3 - 長押し専用)

章 3

はじめに

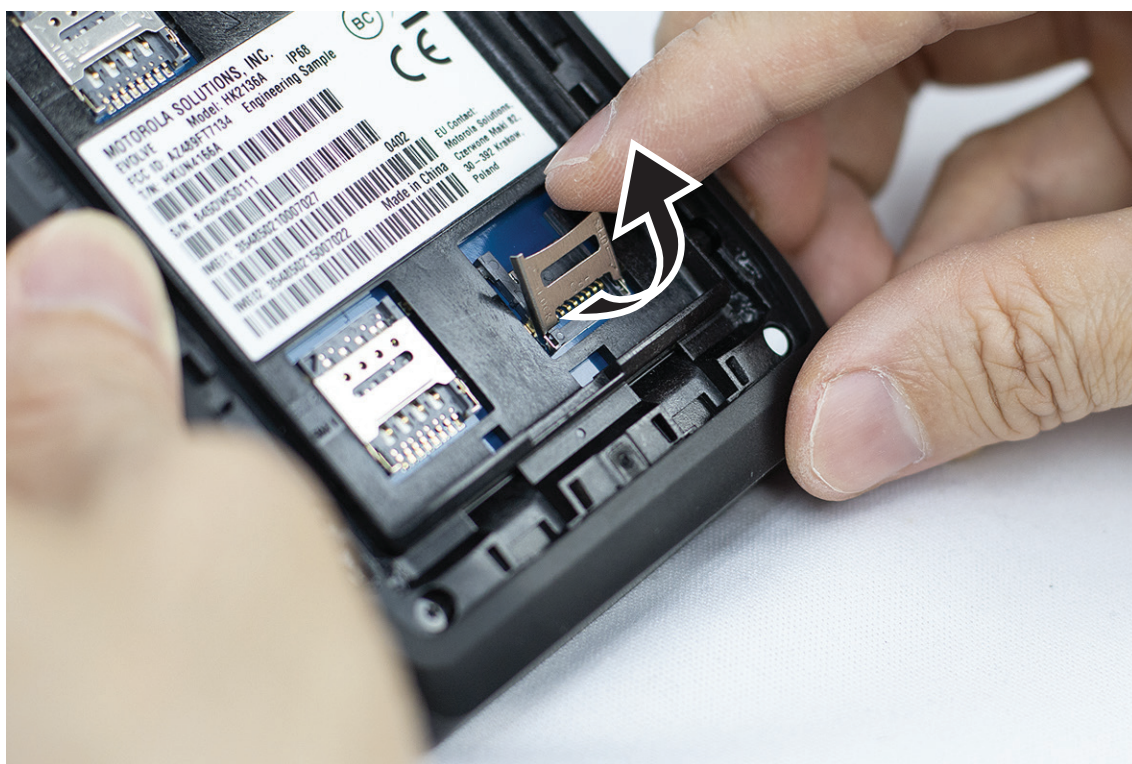
「はじめに」では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

3.1

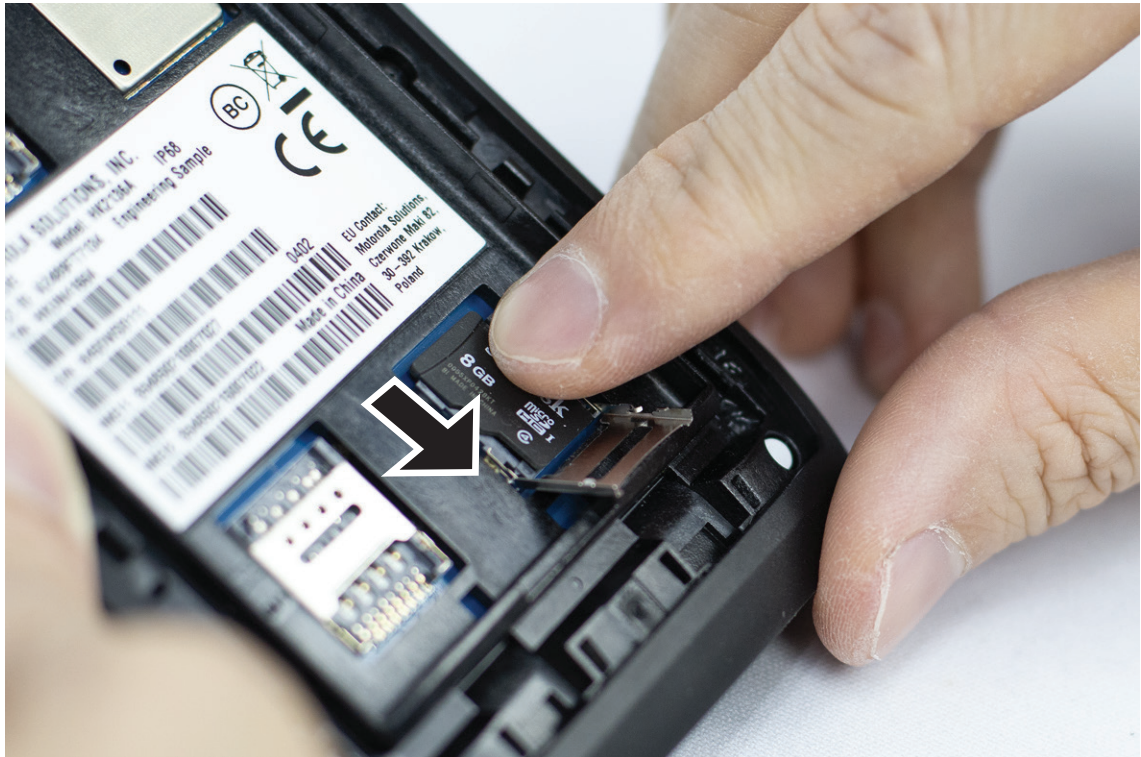
SD カードの挿入

手順:

- 1 SD カード ドアを持ち上げます。



- 2 SD カードを接点に配置します。



3 SD カード カバーを閉じます。

3.2

SIM カードの挿入

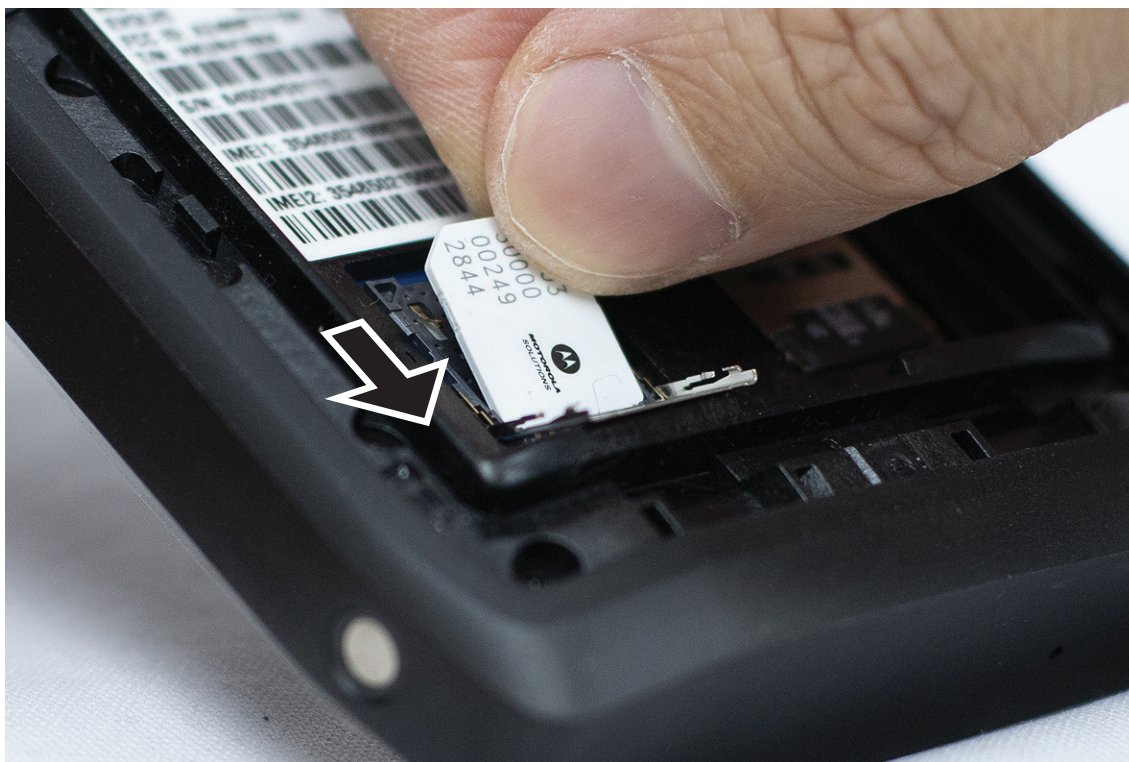
無線機には 2 つの SIM カード スロットがあります。

手順:

1 SIM カード ドアを持ち上げます。



2 SIM カードを連絡先に置きます。



3 SIM カード カバーを閉じます。

3.3

バッテリーの取り付けまたは取り外し



警告:

本質安全 (IS) 無線機の場合、非 IS または未承認のバッテリーを無線機に挿入すると、警告メッセージが表示されます。

適切でないタイプのバッテリーと交換すると、爆発のおそれがあります。

電池パックの取り付け

手順:

- 1 無線機の裏側のレールとバッテリーを合わせます。



- 2 ラッチが収まるまでバッテリーを下に押します。

バッテリーの取り外し

手順:

無線機の裏側からバッテリーを取り出します。

3.4

無線機の充電

手順:

充電するには、USB ケーブルを無線機と USB ポートに接続します。

3.5

無線機の電源のオン/オフ

無線機の電源のオン

前提条件:初めて使用する前に、バッテリーが完全に充電された状態であることを確認してください。

手順:

無線機の電源を入れるには、カチッという音が聞こえるまで、オン/オフ/音量 ノブを時計回りに回します。

無線機の電源のオフ

手順:

無線機の電源を切るには、カチッという音が聞こえるまで、オン/オフ/音量 ノブを反時計回りに回します。

3.6

音量の調節

この設定では、無線機と音声通話の音量のみを調整できます。

手順:

下記のオプションのどちらかを実行します。

- 音量を上げるには、オン/オフ/音量ノブを時計回りに回します。
- 音量を下げるには、オン/オフ/音量ノブを反時計回りに回します。

3.7

カメラ レンズ保護カバーの取り外し

手順:

カメラ レンズから保護フィルムを取り除きます。

3.8

タッチスクリーンのナビゲーション

表 5: タッチスクリーンの操作

操作	結果
タップ	タップして次の操作を実行できます。 • 画面上の項目を選択する • 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力する • 画面ボタンを押す

操作	結果
	
タップしたまま長押し 	タップしたまま長押しして、次の操作を実行できます。 • ホーム画面上のアプリケーションをドラッグして、新しい場所に移動するか、削除する • ホーム画面にアプリケーションのショートカットを作成する • ホーム画面の空白領域で、タップしたまま長押ししてメニューを起動し、壁紙、ウィジェット、ホーム設定を選択する
スワイプ 	画面上で指を上、下、左、または右に移動して、次の操作を実行できます。 • 画面のロックを解除する • 別のホーム画面を表示する • [Launcher] ウィンドウに追加のアプリケーション アイコンを表示する • アプリケーションの画面についての詳細情報を表示する
ダブルタップ 	Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
ピンチ	一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、放したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトができます。

操作

結果



3.9

ホルスタへのベルト クリップの取り付け

手順:

- 1 ベルト クリップをホルスタのスロットに合わせます。
- 2 ベルト クリップを下向きに押して、スライド面が平らになるようにします。
- 3 ベルトクリップを押したまま、カチッという音が聞こえるまで上にスライドさせます。

3.10

ホルスタへの無線機の挿入

手順:

- 1 無線機をホルスタ側に向けてスロットに入れます。
- 2 無線機をホルスタの方向に押して、所定の位置にロックします。

章 4

ホーム画面の概要

図 3：ホーム画面



表 6：ホーム画面の概要

番号	項目	説明
1	ステータス バー	ステータス アイコンと通知アイコンを表示します。
2	アプリケーション ショートカット	目的のアプリケーションにすばやくアクセスできます。
3	Google 検索バー	Chrome を使用して Google 検索を実行するために使用するショートカット ウィジェット。
4	アプリケーション フォルダ	複数のアプリケーションをフォルダにグループ化できます。

4.1

ステータス インジケータ

ステータス インジケータは、無線機で使用するアイコンおよび LED インジケータについて説明します。

4.1.1

ステータス アイコン

これらのアイコンはステータス バーに表示され、デバイス固有の情報やステータスを示します。

 注：次のアイコンが無線機に表示されていない場合は、無線機の  設定から有効にします。

アイコン	名前	説明
	バッテリー	無線機のバッテリー レベルを示します。バッテリー残量が 10% 以下になると、アイコンが点滅します。
	Bluetooth オン	点灯 – Bluetooth がオンで、Bluetooth 接続の準備ができています。 反転 – Bluetooth は外部 Bluetooth デバイスに接続されています。
	位置情報	位置情報が有効になり、その信号が使用可能になります。
	SIM なし	SIM カードが挿入されていないか、認識されていません。
 から  へ	LTE ネットワーク強度	無線機は LTE ネットワークに接続されています。バーの数は、LTE ネットワークの信号の強度を表します。
	LTE サービスなし	無線機が LTE ネットワークに接続されていません。
	データが無効	無線機は LTE ネットワークに接続されていますが、データは無効になっています。
	時間	現在の時刻を示します。
	WiFi	無線機が Wi-Fi ネットワークに接続されています。バーの数は、Wi-Fi ネットワークの信号の強度を表します。

4.1.2

LED 表示

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

表 7: LED 表示

点灯状況	ステータス
青色の点滅	無線機は、次のいずれかの新しい通知を受信しています。 • 新着ボイス メール • 新しい通知 • 新着 SMS または MMS • 新着電子メール • 不在着信
赤色の点滅	バッテリー容量が 10% 以下になっています。
赤色でゆっくり点滅	バッテリーが無効です。
赤色の点灯	バッテリーは充電中です。
緑色の点滅	バッテリー容量が 90% です。
緑色の点灯	バッテリーは完全に充電されています。

章 5

基本機能

無線機では、次の基本機能を使用できます。

5.1

コンピュータからのファイルへのアクセス

手順:

- 1 Micro USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 **[Status]** バーから画面を下にスワイプして、**[Notifications]** パネルを開きます。
- 3 **[Charging this device via USB]** ボタンをタップします。
- 4 [USB Preferences] 画面の [Use USB for] セクションで、次のいずれかのアクションを実行します。
 - MTP (Media Transfer Protocol) を使用して Windows または Mac にファイルを転送する場合は、**[File transfers]** を選択します。
 - USB テザリングを有効にする場合は、**[USB tethering]** を選択します。
 - MIDI 入力に無線を使用する場合は、**[MIDI]** を選択します。
 - MTP をサポートしていないコンピュータの写真やその他のファイルにアクセスする場合は、**[PTP]** を選択します。
 - USB を使用してデバイスを充電する場合は、**[No data transfer]** を選択します。

5.2

無線機の設定へのアクセス

手順:

- 1 無線機の設定にアクセスするには、下記の操作のどちらかを実行します。
 - ホーム画面から上にスワイプします。
 - 通知パネルを下にスワイプします。
- 2  **[Settings]** をタップします。

5.2.1

ホーム画面でのショートカットとしての無線機設定の作成

手順:

- 1  **[Settings]** を見つけます。
- 2  **[Settings]** を長押ししてホーム画面にドラッグします。

章 6

接続

無線機は、さまざまな種類の接続を介して他のデバイス、アクセサリ、またはネットワークに接続できます。

6.1

Bluetooth

Bluetooth 接続を介して、お使いの無線機と Bluetooth 対応アクセサリを連携できます。お使いの無線機では、Motorola Solutions 製と COTS (市販既製品) の両方の Bluetooth 対応アクセサリをサポートしています。

Bluetooth は、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応アクセサリとの間に障害物が何もない場合の距離です。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機とアクセサリを離さないことをお勧めします。

受信不良地域では、音声とトーン両方が「不明瞭」または「割れて」聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機と Bluetooth 対応アクセサリを規定の 10 メートル以内に近づけて、明瞭な音声受信を再確立してください。無線機の Bluetooth 機能の最大出力は、10 メートル範囲で 2.5mW (4dBm) です。

Bluetooth 対応アクセサリの全機能の詳細については、個々の Bluetooth 対応アクセサリのユーザー マニュアルを参照してください。

6.1.1

Bluetooth モードのオン/オフの切り替え

Bluetooth モードをオンにする

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、**[Bluetooth]** をタップします。
-  **[Settings]** で、**[Connect devices]**→**[Connection preferences]**→**[Bluetooth]**→**[On]** の順にタップします。

Bluetooth モードをオフにする

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、**[Bluetooth]** をタップします。
-  **[Settings]** で、**[Connect devices]**→**[Connection preferences]**→**[Bluetooth]**→**[Off]** の順にタップします。

6.1.2

デバイスの詳細の表示

手順:



[Settings] で [Connected devices] → <必要なデバイス> → [View Details] の順にタップします。

6.1.3

デバイス名の編集

手順:



[Settings] で、[Connected devices] → <必要なデバイス> → [Edit Name] → <新しい名前> をタップします。

ディスプレイに [Device Name Saved] と表示されます。

6.1.4

デバイス名の削除

手順:



[Settings] で [Connected devices] → <必要なデバイス> → [Delete] の順にタップします。

ディスプレイに [Device Deleted] と表示されます。

6.2

Wi-Fi 操作

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。無線機のファームウェア、コードプラグ、言語パックおよび音声アナウンスメントを更新するために、Wi-Fi ネットワークをセット アップして接続できます。

無線機は、次の Wi-Fi ネットワークをサポートしています。

WEP/WPA/WPA2/WPA3 パーソナル Wi-Fi ネットワーク

事前共有キー (パスワード) ベースの認証を使用します。事前共有キー/パスワードは、メニューまたは MDM を使用して入力できます。

WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク

エンタープライズ ネットワーク向けに設計されており、RADIUS 認証サーバーが必要です。証明書ベースの認証が導入されていてクライアント証明書の検証が必要な場合は、無線機で証明書を事前設定しておく必要があります。

6.2.1

Wi-Fi のオン/オフの切り替え

Wi-Fi のオン

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、[Wi-Fi] をタップします。

-  **[Settings]** で **[Network & internet]**→**[Wi-Fi]**→**[On]** の順にタップします。

使用可能なネットワークのリストが無線機に表示されます。

Wi-Fi のオフ

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、**[Wi-Fi]** をタップします。
-  **[Settings]** で **[Network & internet]**→**[Wi-Fi]**→**[Off]** の順にタップします。

6.2.2

Wi-Fi ホットスポットの設定

前提条件:デバイスがインターネットに接続していることを確認します。

手順:

- 1 ホーム画面を上からスワイプし、 **[Settings]** をタップします。
- 2 以下の操作を実行して、Wi-Fi ホットスポットをオンにします。
 - a **[Network & internet]**→**[Hotspot & tethering]**→**[Wi-Fi hotspot]**→**[On]** の順にタップします。
- 3 次の操作を実行して、Wi-Fi ホットスポットを設定します。
 - a ホットスポット名を変更するには、**[Hotspot name]**→<新しい名前>→**[OK]** の順にタップします。
 - b セキュリティ設定を調整するには、**[Security]**→<目的の設定> の順にタップします。
 - c ホットスポットのパスワードを変更するには、**[Hotspot name]**→<新しいパスワード>→**[OK]** の順にタップします。
 - d ホットスポットを自動的にオフにするには、**[Advanced]**→**[Off]** の順にタップします。
 - e AP 帯域を調整するには、**[Advanced]**→**[AP Band]**→<必要な設定>の順にタップします。



注: **[Security]** フィールドで **[None]** を選択した場合、ホットスポットのパスワードは要求されません。



注: SIM カードがない場合、無線機は 2.4 GHz 帯域のみをサポートします。

6.3

位置情報

全地球測位システム (GNSS) は、グローバル ポジショニング システム (GPS)、全地球測位システム (GLONASS)、北斗衛星導航システムおよび Galileo からの情報を統合して、無線機のおおよその地理的位置を判断します。

6.3.1

位置のオン オフの切り替え

位置情報のオン

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、**[Location]** をタップします。
-  **[Settings]** で **[Location]**→**[Use Location]**→**[On]** の順にタップします。

位置情報のオフ

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、**[Location]** をタップします。
-  **[Settings]** で **[Location]**→**[Use Location]**→**[Off]** の順にタップします。

6.4

機内モード

機内モードでは、無線周波数信号の伝送と携帯電話サービスを介した無線機の通信機能が無効になります。機内モードを有効にすると、Bluetooth と Wi-Fi 接続が自動的にオフになります。



注：機内モード中に、Bluetooth、GPS、Wi-Fi 接続を手動でオンにできます。

機内モードになっているときには、プッシュトゥーク (PTT) サービスとの接続が切断されます。

次の状況が発生します。

- PTT 通話、携帯電話通話、およびメッセージを受信できません。
- 他のユーザーからのアラートも受信できません。
- 他のユーザーの PTT 連絡先リストにはオフラインと表示され、あなたに電話をかけたりアラートを送信したりすることはできません。

6.4.1

機内モードの開始

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 通知パネルを下にスワイプし、**[Airplane Mode]** をタップします。

-  **[Settings]** で **[Network & internet]**→**[Airplane Mode]**→**[On]** の順にタップします。

無線機の **[Status]** バーに機内モード アイコンが表示されます。

章 7

WAVE™ アプリケーション

このアプリケーションは、ボタンを押すだけで瞬時に通信を行うことができます。
詳細については、「<https://waveoncloud.com/Home/Help>」を参照してください。

表 8 : WAVE アプリケーションの機能

機能	説明
アラート	・ インスタント パーソナル アラート (IPA) – コールバックを要求しているユーザーにメッセージを送信できます。 ・ 不在着信アラート (MCA) - 着信した PTT 通話に出られなかった場合に通知されます。
ブロードキャスト グループ通話	特定のグループ メンバーが優先度の高い方向通話を行えるようにします。
連絡先とグループの管理	管理者が PTT の連絡先とグループを一元管理できるようにします。  注：アプリケーションでは、グループ (group) はグループ (Talkgroup) とも呼ばれます。
お気に入り	お気に入りのリストを管理して、連絡先やグループに即座にアクセスできます。
統合セキュア メッセージング	セキュア テキスト メッセージ、マルチメディア コンテンツおよび位置情報を他の PTT ユーザーと送受信できます。
位置追跡	スーパーバイザがグループ メンバーの位置を追跡できるようにします。
個人およびグループへの PTT 通話	ボタンを 1 つ押すだけで、1 人または複数の人と即座に通信が可能です。
リアルタイム プレゼンス	・ 発信する前に、連絡先が利用可能で、着信を受けられる状態かどうかを確認できます。 ・ 自分の連絡先に対して、PTT 発信を受けるかどうかを表示します。
スーパーバイザによるオーバーライド	スーパーバイザは、他の人が話している間でも、グループ通話中にいつでもフロアを取得して発言できます。
優先度のあるグループ スキャン	・ 加入者の電話で、企業のグループ リストをスキャンして通話できるようにします。 ・ グループ コールの優先度が高い方が優先されます。

機能	説明
WiFi	Wi-Fi 接続を使用して PTT を使用できます。

7.1

WAVE アプリケーションへのログイン

手順:

-  **[WAVE]** アイコンをタップします。
- [Yes]** をタップしてログインします。



注: 初回ログイン時にアクティベーション コードが要求された場合は、詳細についてディーラーまたは管理者にお問い合わせください。

7.2

WAVE アプリケーションからのログアウト

手順:

WAVE アプリケーションから、 **[Menu]**→**[Settings]**→**[Logout]**→**[Yes]** に移動します。

7.3

WAVE アプリケーションの概要

図 4 : WAVE アプリケーションの概要

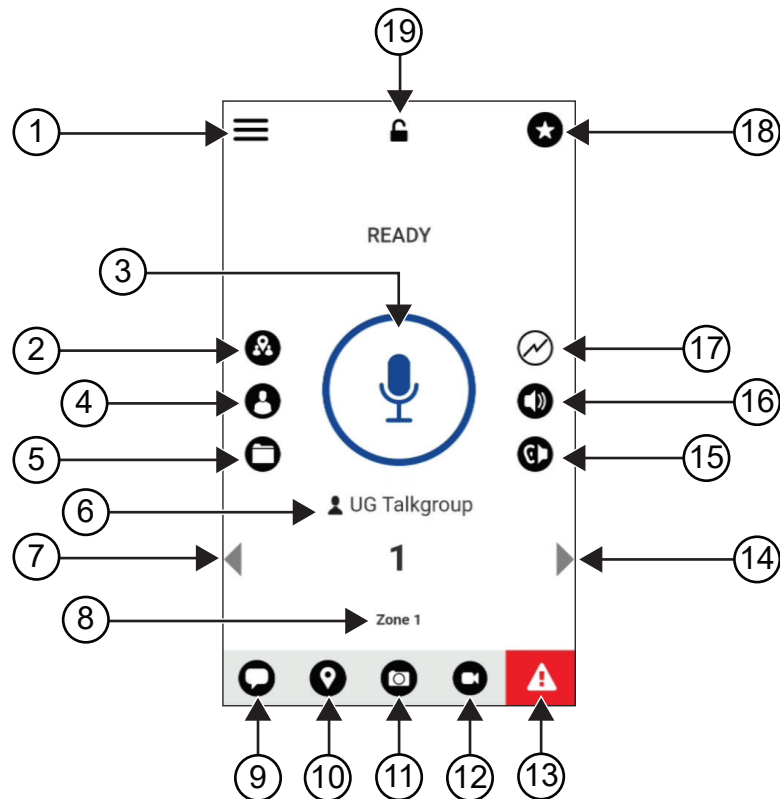


表 9 : WAVE アプリケーションの概要

ラベル	名前	説明
1	メニュー	メニュー オプションには次のものがあります。 • Status • 履歴 • 連絡先 • Map • お気に入り • Channels/Zones • Talkgroup Scan • Tones • Use Wi-Fi • Ambient Listening (設定されている場合) • Settings • Tutorial • About

ラベル	名前	説明
2	履歴	- このタブには、通話、連絡先、グループ、アラート、およびメッセージのすべての会話履歴が表示されます。 - 履歴の表示、折り返し電話の発信、メッセージの表示が可能です。また、連絡先の追加、履歴やメッセージの削除、特定の連絡先やグループへのメッセージ転送も可能です。
3	PTT	電話をかけることができます。
4	連絡先	PTT 連絡先が表示されます。ここではまた、連絡先の検索、PTT 通話の開始、アラートの送信も可能です。
5	チャンネルとゾーン	使用可能なチャンネルとゾーンを表示します。必要なチャンネルとゾーンを選択できます。
6	グループ名	現在のグループ名を表示します。
7	左矢印	前のグループに移動します。
8	ゾーン	現在のゾーンを表示します。
9	メッセージ	現在のグループ通話を表示します。
10	位置情報	現在地を表示します。
11	カメラ	写真を撮影したり、ギャラリーでファイルを選択したりすることができます。
12	ビデオ	ビデオを撮影できます。
13	緊急	緊急事態を開始できます。
14	右矢印	次のグループに移動します。
15	スピーカ オン	スピーカのオンとオフを切り替えることができます。
16	通話音量	[Call Volume] メニューにアクセスできます。
17	スキャン リスト優先度なし	スキャン リストに優先度がないことを示します。
18	お気に入り	- お気に入りの PTT 連絡先とグループを表示します。 - お気に入りに対して、PTT 通話をすばやく発信できます。
19	アプリのロック	WAVE アプリがロックされている場合、[App Lock] をタップしてロックを解除するまで、アプリを使用できません。

7.4

プッシュトゥトーク ボタン

プッシュトゥトーク (PTT) ボタンを使用して、携帯データネットワークまたは Wi-Fi ネットワーク経由で WAVE アプリケーションにアクセスできます。



注：Wi-Fi の可用性によっては、無線機が自動的に携帯電話データ ネットワークと Wi-Fi ネットワークを切り替える場合があります。

無線機には 2 種類の PTT オプションが用意されており、どちらか 1 つを使用して PTT サービスへの通話を開始できます。

表 10 : PTT オプションのタイプ

PTT オプション	説明
外部 PTT ボタン	PTT ボタンまたは PTT ボタン付きのアクセサリを使用して、WAVE アプリケーションにアクセスできます。
画面上の PTT ボタン	WAVE アプリケーションで通話を開始するときには、画面上の PTT ボタンを長押しします。

章 8

グループ

グループ (TG) は、相互の連絡を容易にするために使用されます。グループ内のメンバーと通信するために、WAVE アプリケーションの TG のリストから TG を選択できます。

無線機では、最大 96 の TG を使用できます。TG あたりの最大メンバー数は 250 です。

8.1

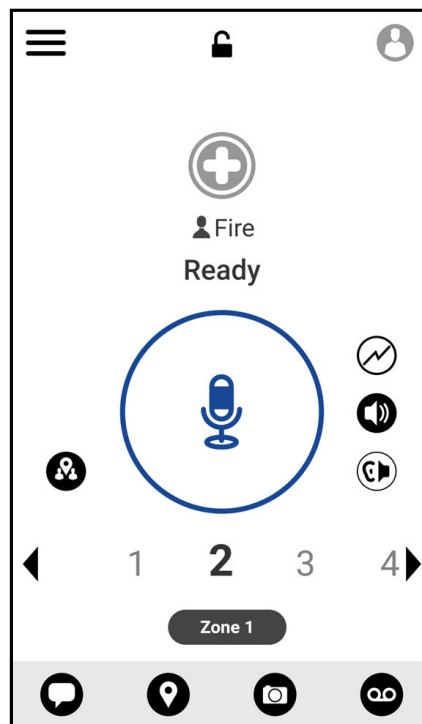
グループの表示

グループはメイン画面で 1 ～ 8 の位置に割り当てられます。

手順:

左矢印または右矢印を選択します。

図 5 : グループ表示



8.2

チャンネルとゾーン

ゾーンは、チャンネルを論理グループに分類するために使用されます。

ゾーンには、チャンネル番号に割り当てられたグループが含まれます。各グループは、1 つのチャンネルとゾーンに割り当てられます。

8.2.1

チャンネルとゾーンの表示

手順:

 **[Menu]**→**[Channels/Zones]** の順にタップします。

8.3

エリアベースのグループ

無線機が、ある地域に入ると、そのジオフェンスのグループ エリアの通知を受信して表示できます。

地理的エリアに入ると、グループが共有され、チャンネル リストの一番上に表示されます。グループ内で PTT 通話とメッセージを使用できます。

エリアベースのグループ通話は、それがアクティブで、かつユーザーが選択したグループの通話がアクティブでないときに受信されます。

エリア グループを抜けるときに通信中の場合、通信は終了せず続行されます。通信が終了したとき、無線機はエリア グループから外れます。

8.4

グループの詳細の表示

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから **[Channel/Zones]** に移動します。
- 2 グループの詳細を表示 するには、目的のグループをタップしたまま長押しし、**[Details]** をタップします。

章 9

連絡先

連絡先アプリケーションを使用して、電話番号やその他のデータを管理することができます。

WAVE アプリケーションでは、次の 2 種類の連絡先を使用できます。

表 11：連絡先のタイプ

連絡先	許可される最大連絡先数	説明
管理者が管理する連絡先	1000	この連絡先は管理者によって管理され、編集または WAVE アプリケーションから削除することはできません。
個人の連絡先	300	この連絡先は、WAVE アプリケーションから作成されます。連絡先を PTT アプリケーションにインポートすることもできます。このグループが管理者によって制限されている場合、連絡先を作成することはできません。

9.1

新規連絡先の追加

手順:

- 1 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
WAVE アプリケーションへの新しい連絡先の追加	- WAVE アプリケーションから  [Menu]→[Contacts] に移動します。  [New PTT Contact] をタップします。 <名前>、<色>、<電話番号>を入力します。  をタップして確認します。
WAVE アプリケーションへの連絡先のインポート	- WAVE アプリケーションから  [Menu]→[Contacts] に移動します。  →[Import PTT Contact] をタップします。 <必要な連絡先>を選択します。

オプション	アクション
	d  をタップして確認します。



注: ☆ **[Favourite]** をタップして連絡先をお気に入りに追加することができます。

章 10

通話のタイプ

選択する通話のタイプに応じて、WAVE アプリケーションを使用してコールを発信する方法がいくつかあります。



注：通話しようとしている相手のプレゼンス ステータスが [Offline] の場合は、連絡先が利用できないことを示すエラー メッセージが表示されます。

無線機で使用できる通話は次のとおりです。

表 12：通話のタイプ

通話	説明
個別通信	1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信。
グループ通信	ユーザーのグループへの通信。相互に通信するには、無線機がグループのメンバーとして設定されている必要があります。
クイック グループ通話	クイック グループ通話では、最大 9 件の連絡先を手動で選択して一時的なグループに追加できます。
ブロードキャスト グループ通話	- ある無線機からチャンネルの各無線機への通信。 - 注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。 - ブロードキャスト通信に応答または拒否することはできません。

10.1

発信する

手順:

- 1 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
WAVE アプリケーションからの個別通話の発信	a WAVE アプリケーションから  [Menu]→[Contacts] に移動します。 b <必要な連絡先>を選択します。
PTT アプリケーションからのグループ通話の発信	a WAVE アプリケーションで、 [Contacts] をタップします。 b <必要なグループ>を選択します。
PTT アプリケーションからのクイック グループ通話の発信	a WAVE アプリケーションで、 [Contacts] をタップします。

オプション	アクション
	b <必要な連絡先>→  [In-Call Add Participant] →<選択した連絡先>の順に選択します。

2 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

3 通話を終了するには、 **[End Call]** をタップします。

10.2

通話着信

通話を受信すると、無線機に着信通話画面が表示され、着信通話のミュートが解除されます。

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- 応答するには、**PTT** ボタンを押し続けます。
- 通話を終了するには、 **[End Call]** をタップします。

章 11

緊急モード

緊急通話とアラートを使用して、連絡先またはグループに緊急を宣言できます。



注：無線機が緊急操作をサポートしていない場合は、無線機に非アクティブな緊急機能に関する通知が表示されます。

11.1

緊急モードの発動

手順:

緊急ボタンを押し続けます。

無線機には次の通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。

緊急モードが無線機で使用できない場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- 鈍い衝突音。
- 次のメッセージが表示されます。「Emergency not initiated.The Emergency feature is not supported.」



注：認可されたユーザーのみが、必要な連絡先の緊急事態を宣言できます。詳細については、[ユーザー チェックの有効化 ページ 49](#) を参照してください。

11.2

緊急アラートの受信

緊急アラートを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 秒間点滅します。
- 緊急事態がキャンセルされるまで、緊急通話にロックされます。

11.3

緊急事態のキャンセル

手順:

緊急ボタンを押し続けます。

無線機には次の通知が表示されます。

- 緊急トーンが消えます。
- 黄色の LED が消灯します。



注：認可されたユーザーのみが、必要な連絡先の緊急事態をキャンセルできます。詳細については、[ユーザー チェックの有効化 ページ 49](#) を参照してください。

章 12

音声制御

音声制御では、音声コマンドを使用して無線機を管理し、情報検索を実行できます。この機能は、通信の向上を目的に設計されており、無線機の割り当てられたプログラム可能機能ボタンを長押しすることでアクティブになります。

 注：音声制御は北米でのみ利用でき、アメリカ英語のアクセントのみをサポートします。

以下のコマンドを使用して、音声で無線機を操作できます。

表 13 : 音声制御コマンド

機能	コマンド
グループ	新しいグループに変更するには、以下のコマンドを発声します。 • "Talkgroup <Talkgroup Name>"¹ • "Change to talkgroup <Talkgroup Name>" • "Switch to talkgroup <Talkgroup Name>" • "Go to talkgroup <Talkgroup Name>"
ゾーンとチャンネル	新しいゾーンとチャンネルに変更するには、以下のコマンドを発声します。 • "Zone <Zone Index>, channel <Channel Index>"¹ • "Zone <Zone Index> and channel <Channel Index>" • "Change to zone <Zone Index>, channel <Channel Index>" • "Change to zone <Zone Index> and channel <Channel Index>" • "Switch to zone <Zone Index>, channel <Channel Index>" • "Switch to zone <Zone Index> and channel <Channel Index>" • "Go to zone <Zone Index>, channel <Channel Index>" • "Go to zone <Zone Index> and channel <Channel Index>"
ゾーン	新しいゾーンに変更するには、以下のコマンドを発声します。 • "Zone <Zone Index>"¹ • "Change to zone <Zone Index>"

¹ より高い精度を求める場合に望ましいコマンド。

機能	コマンド
	• "Switch to zone <Zone Index>" • "Go to zone <Zone Index>"
チャンネル	新しいチャンネルに変更するには、以下のコマンドを発声します。 • "Channel <Channel Index>"¹ • "Change to channel <Channel Index>" • "Switch to channel <Channel Index>" • "Go to channel <Channel Index>"
個別通信	個別通信を発信するには、"Call <Alias Name>" と発声します。
バッテリー残量レベル	バッテリー残量を確認するには、以下のコマンドを発声します。 • "Battery"¹ • "Battery level" • "Battery status" • "Battery check" • "What is my battery level" • "What is my battery status" • "What is my battery"
時間	現在の時刻を確認するには、以下のコマンドを発声します。 • "Time"¹ • "What time is it" • "Time check" • "Current time" • "What is the time" • "What's the time"
Bluetooth	Bluetooth を有効にするには、"Enable Bluetooth" と発声します
	Bluetooth を無効にするには、"Disable Bluetooth" と発声します
	Bluetooth ステータスを確認するには、"Bluetooth status" と発声します。
Wi-Fi ホットスポット	Wi-Fi ホットスポットを有効にするには、以下のコマンドを発声します。 • "Enable hotspot"¹ • "Enable Wi-Fi hotspot"
	Wi-Fi ホットスポットを無効にするには、以下のコマンドを発声します。

機能	コマンド
	• "Disable hotspot"¹ • "Disable Wi-Fi hotspot"
	Wi-Fi ホットスポットのステータスを確認するには、"hotspot status" と発声します。

12.1

音声制御の利用

手順:

- 1 プログラム可能な **Voice Control** (VC) ボタンを押し続けます。
- 2 音声コマンド準備完了トーンが聞こえたら、マイクに向かってコマンドを発声します。
- 3 **Voice Control** ボタンを放し、応答を待ちます。

後行条件:



注:

- 一部の VC コマンドには、さらに手順が必要な場合があります。
- VC はアクセサリをサポートしていません。音声は、接続されている外部アクセサリに関係なく、無線機の内部マイクとスピーカにルーティングされます。
- 外部スピーカで音声アクティビティが行われている場合、無線機の内部スピーカに切り替えると、一時的に音声が混合されます。

章 13

ユーザー チェック

認可されたユーザーは、ユーザー チェックを使用して、リモートからデバイスのステータスを表示できます。主にスーパーバイザまたはディスパッチャが使用します。

次のデバイス ステータスを表示できます。

- 位置情報
- セルラー ネットワーク信号強度
- Wi-Fi 信号強度
- 電池残量レベル

13.1

ユーザー チェックの有効化

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから **[Contacts]** に移動します。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。
 - <必要な連絡先>→☑**[User Check]** をタップします。
 - 必要な連絡先を長押しして、☑**[User Check]** を選択します。



注：緊急を宣言するときにユーザー チェックを有効にすることができます。

章 14

グループ スキャン

この機能を使用すると、電話機でスキャン リストをスキャンできます。上位 3 つの優先グループを割り当てることができます。グループ コールの優先度が高い方が優先されます。

14.1

グループ スキャンのオンとオフの切り替え

グループ スキャンのオン

手順:

WAVE アプリケーションから  [Menu]→[Talkgroup Scan]→[On] に移動します。

無線機には次の通知が表示されます。

- ディスプレイに [Updating Scan Mode] と表示されます。
- トグルがオンになります。

グループ スキャンのオフ

手順:

WAVE アプリケーションから  [Menu]→[Talkgroup Scan]→[Off] に移動します。

- ディスプレイに [Updating Scan Mode] と表示されます。
- トグルがオフになります。

章 15

スーパーバイザによるオーバーライド

スーパーバイザによるオーバーライドを使用すると、個別通信を除く進行中の通話にスーパーバイザが割り込み、即座にスーパーバイザ通話を開始できます。

ユーザーが通信または現在進行中の通信を受信または送信しており、現在進行中の通信がスーパーバイザによって中断された場合、スーパーバイザ通話に対して無線機のミュートが解除され、スーパーバイザのエイリアスが表示されます。



注：設定の詳細については、ディーラーまたは管理者にお問い合わせください。

章 16

インスタント パーソナル アラート (IPA)

パーソナル アラート (IPA) は、通信中またはグループや個別通信に応答できない連絡先に送信できる通知です。

IPA を受信すると、無線機でトーンが鳴り、アイコンと送信者の名前が表示されます。

受信した IPA は IPA ステータス リストに保存され、いつでも表示および返信できます。複数の IPA を受信すると、最新の IPA がリストの一番上に表示されます。IPA ステータス リストには、最大 9 個のアラートを保存できます。

IPA の送信者と個別通信した場合、IPA は自動的にクリアされます。

16.1

インスタント パーソナル アラートの送信

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Contacts]** をタップします。
- 2 <必要な連絡先>  **[Instant Personal Alert]** を長押しします。

ディスプレイに [Alert Sent] と表示されます。

16.2

インスタント パーソナル アラート (IPA) の受信と応答

インスタント パーソナル アラート (IPA) を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに IPA メッセージが表示されます。

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- イニシエータに電話をかけるには、**[Reply]** をタップするか、**PTT** ボタンを長押しします。
- メッセージを閉じるには、**[Not Now]** をタップします。

章 17

不在着信アラート

次のような場合は、不在着信アラートが表示されます。

- 通常の通話中に、誰かからの個別通話を受信した。
- 個別通話を受信し、その通話に応答しなかった。

次のような場合は、不在着信アラートが表示されません。

- グループ通話を受信したが、応答しなかった。
- 通知を非表示 (DND) モード中で、アラートが **[History]** で通知されることなく更新された。
- 応答せずに個別通話を終了した。

17.1

不在着信アラートの受信と応答

不在着信アラートを受信すると、無線機のディスプレイに不在着信アラート メッセージが表示されます。

手順:

下記の操作のどちらかを実行します。

- イニシエータに電話をかけるには、**[Reply]** をタップするか、**PTT** ボタンを長押しします。
- メッセージを閉じるには、**[Not Now]** をタップします。

章 18

マップ

このマップは、すべてのユーザーが利用できます。この機能を使用するには、位置情報をオンにする必要があります。

すべてのユーザーに与えられるデフォルトの権限は Individual です。Supervisor の場合は、管理者に、個人が実行できない特定のアクションを実行できるように位置情報機能を有効にするよう要求できます。詳細については、次のタイプの権限を参照してください。

表 14 : 権限のタイプ

許可	説明
Individual	次の操作を実行できます。 • 現在の場所を確認する • 場所を共有する • 任意の場所を送信する
Supervisor	次の操作を実行できます。 • 現在の場所を確認する • 場所を共有する • 任意の場所を送信する • グループの境界を作成する • メンバーが境界に入るか、境界から出たときに通知を受信する • メンバーの場所を表示する

18.1

自分の場所の共有

前提条件:無線機の位置情報をオンにします。

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 [Map] をタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 現在の場所を共有するには、[My Location]→ [Share] の順にタップします。
 - 任意の場所を共有するには、目的の場所を検索して、 [Share] をタップします。
- 3 場所を送信するには、下記の操作のどちらかを実行します。
 - 個々の連絡先に送信するには、[Send to Contact]→<必要な連絡先>の順に選択します。
 - 複数の連絡先に送信するには、[Send to Quick Group]→<必要な連絡先>の順に選択します。

- グループに送信するには、**[Send to Group]**→<必要なグループ>の順に選択します。

無線機に [Location Sent] と表示されます。

18.2

位置情報機能を有効にした位置情報の共有

前提条件:無線機の位置情報をオンにして、位置情報機能を有効にします。

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから  **[Map]** に移動します。
- 2  **[Tracked Group Selector]** をタップします。
無線機には、位置情報機能を使用できるグループのリストが表示されます。
- 3 目的のグループを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
 - 現在の場所を共有するには、**[My Location]**→  **[Share]** の順にタップします。
 - 任意の場所を共有するには、目的の場所を検索して、  **[Share]** をタップします。

無線機に [Location Sent] と表示されます。

18.3

メンバーの位置情報の表示

前提条件:無線機の位置情報をオンにして、位置情報機能を有効にします。

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから  **[Map]** に移動します。
- 2  **[Tracked Group Selector]** をタップします。
無線機には、位置情報機能を使用できるグループのリストが表示されます。
- 3 目的のグループを選択します。
無線機には、グループ内のすべてのメンバーとそれぞれの場所が表示されます。
- 4 各メンバーの名前と現在の場所を表示するには、  **[Map Pin]** をタップします。

18.4

境界

スーパーバイザは、グループの境界を作成できます。グループのいずれかのメンバーが境界を出入りしたときに、スーパーバイザは通知を受信します。

スーパーバイザは、場所を更新して、グループに設定されている既存の境界を変更することができます。アクティブな境界時間の設定は、アクティブにする境界の継続時間を制御します。

スーパーバイザは、グループのリストまたはクイック グループを使用して境界を作成できます。クイック グループで許可される最大メンバー数は 10 です。

18.4.1

境界の作成

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから  **[Map]** に移動します。
- 2  **[Tracked Group Selector]** をタップします。
無線機には、位置情報機能を使用できるグループのリストが表示されます。
- 3 目的のグループを選択し、**[Boundary]** をタップします。
「Set Boundary」メッセージが表示され、マップ上の場所の周りに青い円が表示されます。
- 4 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 境界サイズを設定するには、指で場所を拡大/縮小するか、「Set Boundary」ポップアップメッセージのスライダをドラッグします。
 - 境界の中心を設定するには、マップを移動するか、目的の場所を検索します。
- 5 境界をオンにするには、**[Set Boundary]** をタップします。
確認メッセージが表示されます。
- 6 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 任意の場所に境界を作成し、静的境界の中心が選択されるようにするには、**[Stay here]** をタップします。
 - 現在の位置に境界を作成し、移動したときに境界が移動するようにするには、**[Follow me]** をタップします。

ディスプレイに **[Fence Boundary On]** と表示されます。

18.4.2

クイック グループによる境界の作成

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから  **[Map]** に移動します。
- 2  **[Tracked Group Selector]** →  **[Quick Group Selector]** → **[Select All in View]** の順にタップします。
 で選択したすべてのピンが紫色になります。
- 3 下記の操作のどちらかを実行します。
 - メンバーを追加するには、**[Add Members]** → <必要なメンバー> →  **[Save]** の順にタップします。

- クイック グループのメンバーを削除するには、**[Quick Group List]**→<必要なメンバー>→ **[Save]** の順にタップします。

18.4.3

境界設定の変更

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから  **[Map]** に移動します。
- 2  **[Map Boundary Enable]**→ **[Boundary Settings]** の順にタップします。
- 3 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 間隔を更新するには、**[Update Interval]**→<必要な分数>の順にタップします。
 - アクティブにする境界の期間を設定するには、**[Active Boundary Time]**→<必要な日数>→<必要な時間>の順にタップします。
 - 通知を有効にするには、**[Notify Me]**→**[On]** の順にタップします。
 - 通知を有効にしてメンバーにアラートを送信するには、**[Notify Members]**→**[On]** の順にタップします。
 - 境界が作成されたときに、境界外からのグループ メンバーが初期通知を受信できるようにするには、**[Initial Member Notification]**→**[Outside Boundary]**→**[OK]** の順にタップします。
 - 境界が作成されたときに、境界内からのグループ メンバーが初期通知を受信できるようにするには、**[Initial Member Notification]**→**[Inside Boundary]**→**[OK]** の順にタップします。
- 4 マップに戻るには、 **[Back]** をタップします。

章 19

メッセージング

プッシュトゥトーク (PTT) アプリケーションを使用すると、他の PTT ユーザーとの間でメッセージを送受信できます。

無線機は以下のタイプのメッセージをサポートします。

- テキスト メッセージ
- 画像メッセージ
- ビデオ メッセージ
- ファイル メッセージ
- 場所メッセージ

19.1

テキスト メッセージの送信

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Contacts]** をタップします。
- 2 <必要な連絡先>→ **[Send Message]** を長押しします。
- 3 スクリーン キーボードを使用してメッセージを入力し、 **[Send]** をタップします。

19.2

クイック テキストの追加

この機能を使用すると、最大 20 件のクイック テキストを保存できます。

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Contacts]** をタップします。
- 2 <必要な連絡先>→ **[Send Message]**→ **[Quick Text Access]**→**[Add Quick Text]**. の順に長押しします。
- 3 スクリーン キーボードを使って、クイック テキストを入力します。
- 4  **[Save]** をタップして確定します。

19.3

クイック テキストの削除

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Contacts]** をタップします。
- 2 <必要な連絡先>→ **[Send Message]**→ **[Quick Text Access]**→**[Edit]**→**[Delete]**→**[Yes]**の順にタップします。

19.4

マルチメディア コンテンツの送信

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Menu]**→**[History]**→<必要な会話>の順に選択します。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
画像またはビデオの送信	a  [Camera] をタップします。 b 下記の操作のどちらかを実行します。 • 無線機を使用して写真を撮影するには、[Take a photo] を選択します。 • 無線機を使用してビデオを録画するには、[Record Video] を選択します。 • 既存の画像を送信するには、[Image Gallery] を選択します。 • 既存のビデオを送信するには、[Video Gallery] を選択します。 c [OK]→[Yes] をタップして送信します。
音声メッセージの送信	a  [Voice Message] をタップします。 b  [Record] を長押しして、マイクに向かって離します。 c  [Record] を放します。 d  [Play] をタップして、音声メッセージを確認します。 e  [Save] をタップして、音声メッセージを送信します。

オプション	アクション
ファイルの送信	a  [Attach File]→<必要なファイル>→ [OK] の順にタップします。
場所の共有	a  [Location]→  [Share] の順に タップします。

19.5

メッセージの受信

メッセージを受信すると、無線機は次の詳細を含む通知を受信します。

- 送信者の名前。
- メッセージのプレビュー。

手順:

- 1 下記の操作のどちらかを実行します。
 - [Notification] をタップして、次の手順をスキップします。
 - WAVE アプリケーションで、 [Menu]→[History] の順にタップします。
- 2  未読メッセージに移動します。
- 3 未読のメッセージを表示するには、 [History Details] をタップします。

19.6

メッセージの保存

次のタイプのメッセージを保存できます。

- 画像メッセージ
- ビデオ メッセージ
- 音声メッセージ
- ファイル メッセージ

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 [Menu]→[History] の順にタップします。
- 2 <必要な会話>で  [History Details] をタップします。
- 3 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 画像をタップします。
 - ビデオをタップします。
 - 音声メッセージをタップします。

- ファイルをタップします。
- マルチメディア コンテンツが無線機に表示されます。

- 4 マルチメディア コンテンツをギャラリーに保存するには、 **[Gallery]** をタップします。

19.7

メッセージの転送

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Menu]**→**[History]** の順にタップします。
- 2 <必要な会話>で  **[History Details]** をタップします。
- 3 <必要なメッセージ>を長押しします。
コンテキスト メニューが表示されます。
- 4 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
連絡先へのメッセージの転送	a [Forward to Contact] →<必要な連絡先>→ [OK] の順にタップします。
グループへのメッセージの転送	a [Forward to Group] →<必要なグループ>→ [OK] の順にタップします。
クイック グループへのメッセージの転送	a [Forward to Quick Group] →<必要な連絡先>→  [Save] → [OK] の順にタップします。

19.8

メッセージへの返信

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 **[Menu]**→**[History]** の順にタップします。
- 2 <必要な会話>で  **[History Details]** をタップします。
- 3 <必要なメッセージ>を長押しします。
コンテキスト メニューが表示されます。
- 4 下記の操作のどちらかを実行します。
 - **[Reply to Sender]** をタップします。
 - **[Reply to Group]** をタップします。
- 5 スクリーン キーボードを使って、メッセージを入力します。

6  [Send] をタップします。

19.9

メッセージの削除

手順:

- 1 WAVE アプリケーションで、 [Menu]→[History] の順にタップします。
- 2 <必要な会話>で  [History Details] をタップします。
- 3 <必要なメッセージ>を長押しします。
コンテキスト メニューが表示されます。
- 4 メッセージを削除するには、[Delete Message]→[Yes] の順にタップします。

章 20

ユーザーの無効化または一時停止

ユーザーの無効化または一時停止は、アカウントが無効化または一時停止されていることを示します。アカウントが無効化または一時停止された場合は、PTT サーバーにログインできません。

PTT ボタンを押すと、無線機は PTT サーバーにログインしようとします。無線機が PTT サーバーに接続できる場合は、通常のログイン画面が表示されます。できない場合は、[ユーザーの無効化/一時停止] アイコンが点滅します。

章 21

アプリケーション

このセクションでは、無線機で利用できるアプリケーションについて説明します。これらのアプリケーションには、ホーム画面からアクセスするか、ホーム画面の下部から上にスワイプして、アプリケーションメニュー ウィンドウを開くことができます。

表 15: アプリケーション

アイコン	名前	説明
	電卓	基本および科学的な算術関数を実行できます。
	カレンダー	イベントおよび予定を管理することができます。
	カメラ	写真やビデオを撮影できます。
	Google Chrome	Google Chrome を使用して、高速、簡単、安全にブラウジングできます。
	時計	時計: アラーム、ストップウォッチ、またはタイマーを設定することができます。
	連絡先	連絡先の情報を管理することができます。
	Google Drive	スマートフォン、タブレット、コンピュータから、すべてのファイルにアクセスできます。いつでも可能です。
	Google Duo	一瞬でつながることができます。 大切な瞬間を逃しません。
	ファイル	写真を参照および管理できます。
	ギャラリー	写真やビデオを表示できます。
	Gmail	Google からのメール: 安全でスマート、使いやすい。
	Google	Google アプリで常に情報を把握しましょう。
	Keep Notes	メモ、リスト、リマインダ、画像、オーディオ、その他多数のものを作成、保存、分類することができます。
	Google マップ	Google マップで世界を探索して歩きましょう。お気に入りの場所を見つけ、興味のあるビジネスとつながり、リアルタイムの交通情報を入手しましょう。
	メッセージ	メッセージを送受信できます。
	電話	電話をかけることができます。
	Google フォト	すべての思い出の保存場所。

アイコン	名前	説明
	Google Play ムービー & TV	最新のリリースに加えて、すべてのお気に入りを画面に表示します。
	Google Play	Google Play は、エンターテインメントに欠かせない存在です。
	Settings	デバイスを設定するための機能を提供します。
	サウンド レコーダ	音声を録音できます。
	WAVE	外出先で安全なプッシュトーク (PTT) サービスを提供します。
	YouTube	YouTube で世界中で見られているものをご覧ください。
	YouTube Music	1 つの新しいアプリと Web で整理された、他では見つかからないすべての音楽を YouTube で見つけてください。

21.1

カメラ

カメラ アプリケーションを使用して、写真を撮影したり、ビデオを録画したりすることができます。

21.1.1

写真の撮影

手順:

- 1 メニューの  **[Camera]** をタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 背面カメラを使用して写真を撮影するには、 **[Camera]** をタップします。
 - 前面カメラを使用して写真を撮影するには、 **[Switch Camera]** →  **[Camera]** の順にタップします。
- 3 ズームインまたはズームアウトを行うには、2 本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。
ズームを操作するオプションが画面に表示されます。

21.1.2

ビデオの録画

手順:

- 1 メニューの  **[Camera]** →  **[Video]** をタップします。
ビデオの録画が開始されます
- 2 ビデオを一時停止するには、 **[Pause]** をタップします。
- 3 録画を停止するには、 **[Stop Record]** をタップします。

- 4 ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。

ズームを操作するオプションが画面に表示されます。

21.2

ギャラリー

ギャラリー アプリケーションを使用して、アルバム、写真、またはビデオを管理できます。



注: このデバイスでは、JPEG、GIF、PNG、HEIC、BMP の画像形式をサポートしています。

フォトを使用して次の操作を実行できます。

- アルバム、写真、ビデオを表示する
- ビデオを再生する
- アルバム、写真、ビデオの基本的な編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

ギャラリー アプリケーションには、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべてのアルバム、写真、ビデオが含まれています。

21.2.1

ギャラリーの表示

手順:

- 1 メニューの  **[Gallery]** をタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 閲覧するアルバムをタップします。
 - 写真をタップします。
 - アルバム内の次の写真または前の写真を表示するには、左または右にスワイプします。
 - コントロールを表示するには、写真をタップします。
 - ズームインまたはズームアウトを行うには、ダブル タップするか、2本の指で画面を押さえて、写真上で指の間隔を狭めたり、離したりします。
 - 写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

21.2.2

写真からの項目の共有

手順:

- 1 メニューの  **[Gallery]** をタップします。
- 2 項目を共有するには、<必要な項目> →  **[Share]** → <必要なアプリケーション> の順にタップします。

21.2.3

ギャラリーからの項目の削除

手順:

- 1 メニューの  **[Gallery]** をタップします。
- 2 項目を削除するには、<必要な項目>→  **[Delete]**→**[OK]** の順にタップします。

21.2.4

写真のトリミング

手順:

- 1 メニューの  **[Gallery]** をタップします。
- 2 写真をトリミングするには、<必要な写真>→  **[Edit]**→  **[Crop]** の順にタップします。
トリミンググリッドが表示されます。
- 3 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
手動による写真のトリミング	a トリミングする写真の部分を選択するには、エンドポイントを調整します。
自動トリミング寸法の選択	a 1:1 をタップします。 b 元の写真を表示するには、 [Original] をタップします。

- 4 確認するには、 **[Yes]** をタップします。
- 5 保存するには、**[SAVE]** をタップします。

21.2.5

写真の回転

手順:

- 1 メニューの  **[Gallery]** をタップします。
- 2 写真を回転するには、<必要な写真>→  **[Edit]**→  **[Crop]**→  **[Rotate]** の順にタップします。
写真は時計回りに 90°回転します。タップするごとに、写真が 90°回転します。
- 3 **[SAVE]** をタップして確定します。

21.2.6

ビデオの再生

手順:

- 1 メニューの  **[Gallery]** をタップします。
- 2 ビデオを再生するには、**[Videos]**→<必要なビデオ>  **[Play]**→<必要なアプリケーション>の順にタップします。
- 3 ビデオの再生を表示したり、前回中断した場所から続行するには、ビデオの進行状況バーをドラッグします。
- 4 前の画面に戻るには、 **[Back]** をタップします。

21.3

バーコードまたは QR コードのスキャン

手順:

- 1 メニューの  **[Camera]** をタップします。
- 2 バーコードまたは QR コードをスキャンするには、背面のカメラを使用して被写体を画面のフレームに合わせます。
URL がポップアップ表示されます。
- 3 URL を表示するために必要なアプリケーションを選択します。

21.4

フラッシュ ライトをオンにする

手順:

通知パネルを下にスワイプし、 **[Flashlight]** をタップします。

21.5

スクリーン キャプチャの取得

手順:

- 1 ホーム ボタンと 2 ドット プログラム可能機能ボタンを同時に押します。
- 2 **[Screenshot]** をタップします。

スクリーン キャプチャがデバイス メモリに保存されます。

21.6

ダーク テーマ

ダーク テーマは、基本的にすべてのメニューとほとんどのアプリケーションのカラー パレットを反転するダーク モードです。

ダーク テーマの利点は次のとおりです。

- 使用しているデバイスの画面テクノロジーに応じて、電力使用量を大幅に削減します。

- 明るい光に敏感なユーザーや視力が弱いユーザーの可視性を向上させます。
- 明るさが足りない環境で誰でも簡単にデバイスを使用できるようにします。

21.6.1

ダーク テーマの設定

手順:

ホーム画面で上にスワイプし、 **[Settings]**→**[Accessibility]**→**[Dark theme]** の順にタップします。

21.7

Smart Reply

Smart Reply を使用すると、アプリケーションを開かずに、通知から直接すばやく応答したり、アクションを実行したりすることができます。ほとんどの場合、受信メッセージに対して使用します。

推奨されるクイック レスポンスでメッセージに返信したり、既読にしたり、画面キーボードで返信したりすることができます。誰かから住所を送信された場合は、Google マップで直接開くことができ、その場合、送信された住所が表示されます。

この機能は、アプリと通知の設定で有効または無効にすることができます。

21.7.1

Smart Reply の設定

手順:

ホーム画面を上からスワイプし、 **[Settings]**→**[Apps & notifications]**→**[Notifications]**→**[Advanced]**→**[Suggested actions and replies]** の順にタップします。

21.8

ファイルの探索

手順:

- 1 メニューの  **[Files]** をタップします。
- 2 ファイルの種類を選択するには、 **[Menu]** をタップします。
- 3 次のオプションのいずれかを選択します。
 - 最近の表示
 - 画像
 - ビデオ
 - 音声
 - ダウンロード
- 4 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
ファイルの表示	<必要な項目>をタップします。

オプション	アクション
ファイルの共有	a <必要な項目>を長押しします。 b ダウンロードした項目を共有するには、 [Share]→[Share via]→<必要なアプリケーション>の順にタップします。
ファイルの検索	a  [Search] をタップします。 b 必要な入力を入力します。
ファイルの削除	a <必要な項目>を長押しします。 b 削除するには、 [Delete]→[OK] の順にタップします。
Google レンズでの検索	a <必要な項目>→ [Google Lens] の順にタップします。
その他のオプション	⋮ ⋮ ⋮ [More] をタップします。

章 22

設定

このセクションでは、2 種類の設定について説明します。それらは、デバイス設定、表示設定、サウンド設定などの WAVE アプリケーションと電話の設定です。

自分の好みに合わせて設定をカスタマイズできます。

22.1

WAVE アプリケーション設定へのアクセス

手順:

- 1 WAVE アプリケーションから  [Menu]→[Settings] に移動します。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
着信があったときのハンドセットのバイブを有効または無効にする	[Vibrate Call] をオンまたはオフに切り替えます。
新しいアラートを受信したときのバイブを有効または無効にする	[Vibrate Alert] をオンまたはオフに切り替えます。
PTT 通話音量を調整する	[Volume Boost] をスライドさせます。
インスタント パーソナル アラートの受信アラートを設定する	a [Instant Personal Alert] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 • トーンとディスプレイ • トーンのみ • ディスプレイのみ • オフ
不在着信アラートの受信アラートを設定する	a [Missed Call Alert] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 • トーンとディスプレイ • トーンのみ • ディスプレイのみ • オフ
アラート トーンを設定する	[Alert Tone]→<目的の設定>の順に選択します。
音声アナウンスメントを設定する	[Channel Announcement]→<目的の設定>の順に選択します。

オプション	アクション
アラートの繰り返しを設定する	a [Alert Repeat] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 - アラートを 1 回再生するには、[Once] を選択します。 20 秒ごとに 10 分間アラートを再生するには、[Repeat] を選択します。 - アラートがクリアされるまで 20 秒ごとにアラートを再生するには、[Continuous] を選択します。
着信メッセージのアラートを有効または無効にする	[Message Alert] をオンまたはオフに切り替えます。
メッセージのトーンを変更する	[Message Alert Tone] →<目的の設定>の順に選択します。
ネットワーク送信トーンを調整する	a [Network Up/Down Tones] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 - ネットワーク損失時にトーンを再生するには、[Network Loss] を選択します。 - ネットワーク損失および再接続中にトーンを再生するには、[Network loss and reconnect] を選択します。 - 通話中のネットワーク喪失時にトーンを再生するには、[Network loss during call only] を選択します。 - トーンを無効にするには、[None] を選択します。
ネットワーク喪失のリピート タイマーを設定する	a [Network Loss Tone Repeat] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 - なし 10 秒 30 秒 60 秒
着信通話の処理方法を制御する	a [Privacy Mode] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	アクション
	• スピーカではなくイヤピースから着信通話を受信するには、[Earpiece] を選択します。 • スピーカから着信通話を受信するには、[Off] を選択します。
バックグラウンドで動作する PTT アプリケーションを有効または無効にする	[Background Mode] をオンまたはオフに切り替えます。
着信通話の優先度を設定する	a [Call Priority] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 • 通話中にいずれかの着信通話を拒否するには、[Ongoing] を選択します。 • 通話中に PTT 通話を拒否または終了するには、[Phone] を選択します。
画面がロックされているときに PTT 通話の許可を有効または無効にする	[Call from Lock Screen] をオンまたはオフに切り替えます。
PTT 通話中に再生されるトーンを設定する	a [In-Call Tones] を選択します。 b 次のトーンを有効にするには、設定をオンに切り替えます。 • 着信トーン • フロア付与トーン • フロア フリー トーン • フロア リリース トーン • フロア エラー/ビジー トーン • 音声メッセージのトーン
表示名を表示または変更する	[Display Name] →<優先する名前>の順に選択します。
PTT 番号を表示する	[My PTT Number] を表示します。
PTT 通話中に Bluetooth の使用を有効または無効にする	[Use Bluetooth] をオンまたはオフに切り替えます。
連絡先を並べ替える	a [Contact Sorting] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 • By Alphabetical • By Availability
履歴を並べ替える	a [History Sorting] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	アクション
	• Newest on top • Newest on bottom
デバイスの電源をオンにしたときのバックグラウンドでの WAVE アプリケーションの起動を有効または無効にする	[Auto Start] をオンまたはオフに切り替えます。
メッセージの添付ファイルの自動ダウンロードを有効または無効にする	[Automatic Download] をオンまたはオフに切り替えます。
ビデオ通話への自動応答を有効または無効にする	[Auto Answer Video Call] をオンまたはオフに切り替えます。
ユーザーの確認なく認可されたユーザーがビデオを自動的に送信することを有効または無効にする	[Allow Unconfirmed Video Transmission] をオンまたはオフに切り替えます。
PTT 通話とビデオ通話のオーディオ インタラクションを設定する	[Audio Interaction] → <目的の設定>の順に選択します。
トークバックのスキャンを有効または無効にする	[Scan Talkback] をオンまたはオフに切り替えます。
設定をデフォルトに戻す	[Restore Defaults] を選択します。
緊急連絡先を表示する	[Emergency Settings] を選択します。
WAVE アプリケーションからログアウトする	[Logout] を選択します。

22.2

デバイス設定

この機能を使用して、デフォルトのデバイス設定を変更することで、無線機を個人に合わせた設定にすることができます。



注：記載されている機能にアクセスできない場合は、詳細についてディーラーまたは管理者にお問い合わせください。

22.2.1

画面ロック

パターン、PIN、またはパスワードを指定して、無線機画面を自動的にロックしてデータを保護するように設定できます。



重要：無線機の画面のロック オプションが **[None]** または **[Swipe]** に設定されている場合、データは保護されていないため、誰でもアクセスできるようになります。

無線機の電源が入っている場合は、ディスプレイのスリープ/ウェイクおよびホーム ボタンを押して無線機をロックし、パターン、PIN、またはパスワードを入力してロックを解除できます。

パターン、PIN、またはパスワードを指定しておらず、ロック オプションが設定されていない場合は、画面を上からスワイプするか、ディスプレイのスリープ/ウェイクおよびホーム ボタンを押すだけで、無線機のロックを解除することができます。

無線機がロックされていても、携帯電話ネットワークの信号、電話通話、新しいメッセージの通知、不在着信および今後の予定は引き続き使用可能で、受信できます。

また、指定した時間が経過すると自動的にロックするように無線機を設定することもできます。

22.2.1.1

画面のロック解除

手順:

- 1 ウェイク ボタンまたはホーム ボタンを押します。
- 2 ホーム画面を上からスワイプします。
- 3 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
パターンで画面のロックを解除する	指定されたパターンを指で画面に描画します。
PIN またはパスワードによる画面のロック解除	a PIN またはパスワードを入力します。 b  [Save] をタップします。

22.2.2

日付と時刻の設定

無線機が電話ネットワークに接続されると、日付と時刻が自動的に同期されます。日付と時刻を手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順:

- 1 ホーム画面で上からスワイプし、 **[Settings]** → **[System]** → **[Date & time]** の順にタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
日付と時刻の自動同期の無効化	[Automatic date and time] オプションを切り替えます。
タイムゾーンの自動同期の無効化	[Automatic time zone] をタップします。
日付の設定	a [Set date] をタップします。 b 年、月、日を選択します。 c [OK] をタップします。
時間の設定	a [Set time] をタップします。 b 時間、分、および日を選択します。 c [OK] をタップします。
タイムゾーンの設定	a [Select time zone] → [Region] → <目的の地域>の順にタップします。

22.3

表示設定へのアクセス

手順:

- 1 ホーム画面を上からスワイプし、 **[Settings]**→**[Display]** の順にタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
画面の明るさの設定	a [Brightness level] を選択します。 b スライダーを調整して、<必要な明るさレベル>を設定します。
明るさの自動調節の設定	a [Brightness level] を選択します。 b [Adaptive brightness] をオンに切り替えます。
壁紙の変更	a [Wallpaper] を選択します。 b 次のいずれかのアプリケーションを選択します。 • ギャラリー • 壁紙 • ライブ壁紙 • 写真 c <必要な画像>→[Set Wallpaper] の順にタップします。
スリープ モードの設定	a [Advance]→[Sleep] の順に選択します。 b <任意のタイムアウト値>を選択します。
スクリーン セーバーの設定	a [Advance]→[Screen saver]→[Current screen saver] を選択します。 b 次のオプションのいずれかを選択します。 • 時計 • 色 • 写真 c [When to start] をタップします。 d 次のオプションのいずれかを選択します。 • ドッキング中 • 充電中 • 充電中またはドッキング中

オプション	アクション
	なし
フォント サイズの設定	a [Font size] を選択します。 b <必要なフォントサイズ>に合わせてスケールをスライドします。
表示サイズの設定	a [Advance]→[Display size] を選択します。 b <必要な表示サイズ>に合わせてスケールをスライドします。
画面の回転の設定	a [Advance]→[Display size] を選択します。 b [Auto-rotate screen] をオンに切り替えます。
画面のキャストの有効化	a [Connected devices]→[Connected preferences]→[Cast] の順に選択します。 b [More]→[Enable wireless display] の順にタップします。

22.4

サウンド設定へのアクセス

手順:

- 1 ホーム画面を上からスワイプし、 **[Settings]→[Sound]** の順にタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
サウンド設定の調整	スライダを調整して、次のサウンド設定を行います。 - 通話 - メディア - アラーム - 音量
着信時のバイブレーションの設定	[Also vibrate for call] をオンに切り替えます。
ハウリング抑制の有効化または無効化	[Howling Suppression] をオンまたはオフに切り替えます。
通知を非表示の設定	a [Do Not Disturb] を選択します。

オプション	アクション
	b 次のセクションで、通知を非表示の設定を構成します。 • Behavior • Expectations • Schedule
補聴器の両立性を有効または無効にする	a [Advance] を選択します。 b [Hearing aid compatibility] をオンまたはオフに切り替えます。
電話通話のホルスタ検出を有効または無効にする	a [Advance] を選択します。 b [Use Holster for phone call] をオンまたはオフに切り替えます。

22.4.1

無線機のミュート

手順:

- 1 プログラマブルミュート ボタンを押し続けます。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。
 - 無線機のすべての音をミュートする場合は、 **[mute]** をタップします。
 - すべての音をミュートし、通知時に無線機を振動させる場合は、 **[vibrate]** をタップします。
 - 無線機のミュートを解除する場合は、 **[unmute]** をタップします。

22.4.2

自動ルールの設定

自動ルールを使用すると、[Do not disturb] が自動的にオン/オフになるようにスケジュールを設定できます。

手順:

- 1 ホーム画面で上にスワイプし、 **[Settings]**→**[Sound]**→**[Do Not Disturb]**→**[Turn on automatically]** の順にタップします。
- 2 下記の操作のどちらかを実行します。

オプション	アクション
スリープの自動ルールの設定	a [Sleeping] をタップします。 b [Use rule] をオンに切り替えます。 c 次のルールの詳細を設定します。

オプション	アクション
	• ルール名 • 日 • 開始時刻 • 終了時刻 • アラームは終了時刻を上書きすることができます
イベントの自動ルールの設定	a [Event] をタップします。 b [Use rule] をオンに切り替えます。 c 次のルールの詳細を設定します。 • ルール名 • 次のイベント中 • 返信する場所
新しいルールの追加	a [ルールの追加] をタップします。 b 次のルールの種類を選択します。 • イベント • 時間 c ルール名を入力し、[ADD] をタップします。

章 23

認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、デジタル携帯型業務用無線機の生産性を向上させる次の承認済みアクセサリをご用意しています。

表 16 : バッテリ

部品番号	説明
BT000592A01 ²	Li-ion バッテリ、2900 mAh
BT000593A01 ²	大容量 Li-Ion 5800 mAh
BT000594A01 ³	IS 大容量 Li-Ion 5800mAh

表 17 : キャリー デバイス

部品番号	説明
NTN8266_	2.5 インチ ベルト幅ベルト クリップ
PMLN7965_	3 インチ ベルト幅ベルト クリップ
PMLN6970_	キャリー ホルスタ

表 18 : 充電器

部品番号	説明
PMPN4169_	車両電源アダプタ
PS000150A11	MicroUSB、7.5 W、100 ~ 240 V 電源壁充電器、米国/日本
PS000150A12	MicroUSB、7.5 W、100 ~ 240 V 電源壁充電器、EU
PS000150A13	MicroUSB、7.5 W、100 ~ 240 V 電源壁充電器、UK
PS000150A17	MicroUSB、7.5W、100 ~ 240V 電源壁充電器、韓国

表 19 : 小型イヤホンとイヤピース

部品番号	説明
PMLN7851_ ²	オペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース PTT
PMLN8191_	1 線式拡張クリア チューブ イヤピース 2.5 mm コード
PMMN4125_ ²	リモート スピーカ マイク
PMMN4127_ ²	オペレーション クリティカル ワイヤレス リモート スピーカ マイク WM500

² 本質安全 (IS) モデルでは使用できません。

³ 本質安全 (IS) モデルでのみ使用します。